

平成 27 年度第 8 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「恋瀬川支流の豊かな生き物を観察しよう！！」を実施しました。

開催日時：平成 27 年 9 月 13 日（日） 9 時 00 分から 14 時 00 分まで

開催場所：石岡市小幡（恋瀬川支流：川又川）

参加者：25 名

今回は霞ヶ浦流入河川の恋瀬川支流の川又川にて、自然の多く残る地域の生き物を観察しました。最終的に 20 種類を超える生き物を観察でき、霞ヶ浦流域に豊かな生き物をはぐくむ自然が残されていることを実感できました。

観察会の数日前に大雨が降った影響で観察会の実施が危ぶまれましたが、前日に現地見を行い、水位が平常の状態に戻っているのを確認して実施することができました。

現地に到着し観察会が始まると、すぐに子どもたちから“生き物を捕まえた！”と喜びの歓声がありました。あっという間にバケツの中にはたくさんの生き物が集まりました。大人の参加者の方も、子どもたちがいきいきと活動し、たくさんの生き物に触れる機会を目にして感動したと話していました。

今回の観察会の目的は、多くの生き物を観察するとともに、生き物を指標に、その河川的环境を知ることでした。理解を深めるため COD の測定や透視度も調べてみました。水位は平常に戻っていたものの、大雨の影響で濁りは残っており、透視度は約 17cm でした。（一昨年と同じ場所での観察会では約 70cm） COD は 3 mg/L と霞ヶ浦の平均より有機物の量は少なく、COD の結果からはきれいな水質であることが確認できました。

それを踏まえて、最後に参加者全員で、捕まえた生き物を観察していきました。きれいな水質の河川の指標生物として知られる、ヘビトンボの幼虫、サワガニ、カワニナ、ハグロトンボのヤゴなどが採取され、生息している生き物からも、この場所がきれいな水質であることがわかりました。

最後にどうしてこの川の水が霞ヶ浦に流れ込むころには汚れてしまうのか、皆で考えて、観察会を終えました。

参加されたみなさま、観察会運営に御協力いただいたパートナーのみなさま、本当にありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察された生き物は次の通りです。

魚 類：カワムツ、ヨシノボリ属、ヌマチチブ、ドジョウ

甲殻類：サワガニ、スジエビ、アメリカザリガニ

両生類：トウキョウダルマガエル、ツチガエル、ニホンアマガエル、ウシガエル（幼生）

昆 虫：タイコウチ、コオイムシ、ハグロトンボ、サナエトンボの仲間 3 種、カゲロウの仲間、ノシメトンボ

貝 類：カワニナ、シジミ

観察会の様子の一部を御紹介します。



観察会の場所，川又川です。



アメリカザリガニ



ハグロトンボのヤゴ



コオイムシ



透視度を調べています。



こちらは COD の測定です。

きれいな川の生き物たち



ヘビトンボ幼虫



カワニナ



サワガニ

魚類



カワムツ (左) ヌマチチブ (下)

